

令和3年度 堅田高等学校 第2回学校評議員の会が開催されました

日 時：令和4年2月16日（水）

会 場：堅田高等学校 大会議室

<参加者一覧表（敬称略）>

学校評議員5名

西 隆司 永田 敏彦 白尾 幸博

本校関係者8名

馬場 光仁（校長） 辻 和美（教頭） 藤田 恭敏（教務主任）

善村 光良（生徒指導課主任） 足立 泰宣（進路指導課主任）

岡崎 聡司（第1学年主任） 山本 宏和（第2学年主任） 前田 秀生（第3学年主任）

欠席：学校評議員 岡田 考世（欠席） 加藤 賢治（欠席）

<スケジュール>

①14：20 受付 大会議室

②14：30 ～ 15：30 評議員の会 大会議室

<次 第>

1 校長挨拶

現在の学校状況を説明。推薦選抜・スポーツ文化芸術推薦選抜では72名合格。来年度6クラス規模学校となる。学校全般の取り組みについては、この後の報告を聞いていただき、忌憚のないご意見をいただきたい。

2 出席者の紹介 学校側：自己紹介、委員：自己紹介

省略

3 今年度の取り組み現況と課題について

(1) 学校経営全般について ……校長より

信頼される学校づくり・魅力ある学校づくりに取り組んでいる。コロナ禍の対応に業務が圧迫されている場面も見受けられる。

1. 来年度入学生の1人1台端末の導入が決定している。HR 教室の 프로젝ターを効果的に活用するために、黒板のスクリーンや、遮光カーテンへの変更など、PTA・後援会・同窓会の支援をいただいた。生徒トイレの改修作業が完了。多目的トイレの完成。学習環境を整備することができた。

2. スクールミッションについて、今後、県立全高等学校で策定、公開することとなっている。普通科の魅力化や特色化について課題となっている。本校では、これまでの取り組みより「地域連携」を、重点的に学校づくりを進めていきたいと考えている。特進クラスの進学実績の向上・普通クラスの多様な進路保障。地元への就職支援。地域の活性化を意識して貢献できる学校へしていけたらと考えている。

- (2) 学習指導について ……教務課より
- ・コロナによる対策として教育活動（ペアワークや話し合いなど）には、一定の配慮が必要という状況である。探究の活動にも影響が出ている。
 - ・各クラスに自宅待機の生徒もおり、全員がなかなかそろわない。オンラインを併用した教育活動の重要性が国や県からも指摘されているが、家庭環境の差や教員のスキルの問題もあり、順調にはすすまない。
 - ・夏休みに GIGA スクール構想により各 HR 教室にはプロジェクターが設置された。これにより、2 学期から映像等を投影して授業で活用する教員が増えた。
 - ・次年度入学生には「1 人 1 台端末」も決定した。購入か持ち込みか、保護者の経済状況によっては、貸出という事になる。
 - ・今後は、スタディサプリやロイロノートの活用を教員がどのように工夫していくかが課題である。

- (3) 生徒指導について ……生徒指導課より
- ・生活指導、教育相談、特別支援教育、部活動
 - ・コロナの影響により、欠席や遅刻の理由がはっきりしない部分があるのが課題である。マスクの関係もあるが、挨拶ができなくなってきたように感じている。身だしなみや化粧も分かりづらい。
 - ・登下校の交通マナーに対する苦情も最近減っている。生徒同士のコミュニケーションの中でトラブルはいくつかある。悪質な違法行為はない。
 - ・相談や支援の必要な部分は、サポートしている。
 - ・部活動の成果は別紙に詳しく記載している。

- (4) 進路指導について ……進路指導課より
- ・進路状況 4 ページを説明。生徒の頑張りもあり、関西有名国公立・私大に合格することができている。看護希望者は全員合格することができた。ここ数年では、かなりよい実績が上がっている。
 - ・就職のほうも希望者は全員内定をいただくことができている。来年度は、就職希望の女子が増えることが想定される。

- (5) 生徒の学習状況や生活状況について ……各学年より

3年

- ・現在、進路決定に向かって生徒が頑張っているところである。専門学校への人数よりも大学へ入学する生徒が多くなったのがこの学年の傾向である。大学に入ってもしっかりと学習してほしい。

2年

- ・修学旅行の日程を、9月から11月に変更した。北海道での活動内容は変更をした。実施できたことを、生徒も喜んでいただようである。来年は3年生となるので、夢や目標の進路実現のために支援していきたい。不安を抱えているような生徒もいるので励まし

ていきたい。

1年

- ・197名でのスタートであった。さらに進路変更の生徒もいると想定される。コロナ下で体育祭や校外学習などの学校行事が縮小され、十分に行事を経験させてやれないことが残念である。
- ・学校生活にせよ、学習面での取り組みにせよ、二極化していることを感じる。

(6) 入学者選抜について ……教頭より
定員が1クラス増え、240名になる。

(7) 学校評価と改善策について ……教頭より

- ・学校評価アンケートは、教師・生徒・保護者でとっている。学校としては、落ち着いた学習環境を維持している。
- ・挨拶に関する項目について。
- ・体育祭について。
- ・図書活動について。
- ・安心安全な学校づくりに多くの生徒が満足している部分が見受けられるのはありがたく思っている。アンケートをもとに、総合評価を学校関係者評価として、挙げているので確認いただきたい。保護者アンケート自由記述欄についてあわせて確認いただきたい。

(8) その他

4 校務運営に係わる意見交換

○：学校評議員の提言（意見）

- ：コロナ禍の中で、地域行事も減少している。地域の運動会できなかった。スタンプラリーをしたが、130名ほどの小学生や保護者の参加があった。湖族祭りも中止とした。各種団体との交流もしにくい。堅田学区に23か所防犯カメラを設置した。そのカメラが役に立つ事例があった。生徒の防犯にも必要であれば声をかけてもらいたい。朝のあいさつ運動をしている。生徒の登下校時に、声かけをしても反応ない場合もあるのは残念に思う。
- ：アンケートの記述には、学年進行で内容に差が見受けられる。
- ：地域と何か連携してするようなことがあればということなら、地域の連合会に来ていただいたら相談できるし、何なりと要望をしてもらえたらいいと思う。

5 校長謝辞

スクールミッションについて、広報活動にも結び付けていきたい。

本校生徒は、おとなしい生徒が増えてきている。アウトプットすることをさせていきたい

<座席表>

